する。

⑶　複数のスロットを連結するものは、１スロット送信に固定する。

４　測定操作手順

⑴　中心周波数を搬送波周波数とし、スペクトル分析器の設定を２⑵として、搬送波の電力を測定する。

⑵　帯域外領域における不要発射の強度

ア　スペクトル分析器の設定を２⑴とし、掃引して不要発射を探索する。

イ　検出した不要発射の電力値に分解能帯域幅換算値（注５）を加えた値が十四の項に規定する基準値以下の場合は、電力値に分解能帯域幅換算値を加えた値を測定値とする。

ウ　検出した不要発射の電力値に分解能帯域幅換算値を加えた値が十四の項に規定する基準値を超える場合は、当該基準値を超える周波数において、次のエからスまでの手順で詳細測定を行う。

エ　八の項で測定した空中線電力の測定値に、13.8dB（広帯域スロットの場合は 10.8dB）を加えた値を算出してP_bとする。

オ　スペクトル分析器の設定を２⑵とし、スペクトル分析器の中心周波数を搬送波周波数とする。

カ　スペクトル分析器を掃引して、全データ点の値をコンピュータの配列変数に取り込む。

キ　全データの dB 値を電力次元の真数に変換する。

ク　全データの電力総和（注６）を算出し、その値を搬送波電力P_Cとする。

ケ　スペクトル分析器の設定を２⑵とし、スペクトル分析器の中心周波数を、ウにおいて当該基準値を超える各周波数とする（注３）。

コ　スペクトル分析器を掃引して、全データ点の値をコンピュータの配列変数に取り込む。

サ　全データの dB 値を電力次元の真数に変換する。

シ　全データの電力総和（注６）を算出し、その値を不要発射電力P_Sとする。

ス　不要発射電力を次式で算出する。

不要発射電力＝（P_S／P_C）×P_b

５　試験結果の記載方法

測定した不要発射の電力値を、技術基準が異なる各帯域ごとに不要発射電力の最大の１波を周波数とともに、規定の単位で記載する。

６　その他

⑴　変調符号を標準符号化試験信号に設定できない場合は、通常運用状態において占有周波数帯幅が最大となる変調符号とする。

⑵　４⑵クの注６において参照帯域内のＲＭＳ値を用いる場合は、測定値にバースト時間率（注７）の逆数を乗じた値を測定結果とする。

注１　掃引周波数幅と分解能帯域幅を次のように設定する。

掃引周波数幅	分解能帯域幅
搬送波周波数±（864kHz から 1,228kHz まで）	10kHz
搬送波周波数±（1,228kHz から 2,592kHz まで）	10kHz
搬送波周波数±（2,592kHz から 4,320kHz まで）	10kHz

注２　「（掃引周波数幅／分解能帯域幅）×バースト周期」以上とすることができる。ただし、検出した信号のレベルが最大３dB 小さく測定される場合があるので注意する。

注３　不要発射周波数（検出した周波数）がスプリアス領域と帯域外領域の境界近傍の場合は、中心周波数を境界周波数から参照帯域幅の１／２だけ離調させた周波数とする。

不要発射周波数（検出した周波数）	中心周波数
搬送波周波数±（864kHz から 960kHz まで）	搬送波周波数±960kHz
搬送波周波数±（1,132kHz から 1,228kHz まで）	搬送波周波数±1,132kHz
搬送波周波数±（1,228kHz から 1,728kHz まで）	搬送波周波数±1,728kHz
搬送波周波数±（2,092kHz から 2,592kHz まで）	搬送波周波数±2,092kHz
搬送波周波数±（2,592kHz から 3,092kHz まで）	搬送波周波数±3,092kHz
搬送波周波数±（3,820kHz から 4,320kHz まで）	搬送波周波数±3,820kHz

注４　掃引周波数幅を次のように設定する。

	中心周波数	掃引周波数幅
搬送波測定時	搬送波周波数	1,728kHz
不要発射測定時	搬送波周波数±（864kHz から 1,228kHz まで）	192kHz
	搬送波周波数±（1,228kHz から 2,592kHz まで）	１MHz
	搬送波周波数±（2,592kHz から 4,320kHz まで）	１MHz

注５

不要発射周波数（検出した周波数）	分解能帯域幅換算値
搬送波周波数±（864kHz から 1,228kHz まで）	12.8dB
搬送波周波数±（1,228kHz から 2,592kHz まで）	20dB
搬送波周波数±（2,592kHz から 4,320kHz まで）	20dB

注６　電力総和の計算は次式による。ただし、参照帯域幅内のＲＭＳ値が直接算出できるスペクトル分析器の場合は、６⑵の補正を行うことにより測定値とすることができる。

$$P_C = \left(\sum_{i=1}^{n} E_i \right) \times \frac{S_W}{RBW \times k \times n}$$

$$P_S = \left(\sum_{i=1}^{n} E_i \right) \times \frac{S_W}{RBW \times k \times n}$$

P_S　：各周波数での参照帯域幅内の電力総和の測定値（W）

E_i　：１サンプルの測定値（W）

S_W　：掃引周波数幅（MHz）

n　：参照帯域幅内のサンプル点数

k　：等価雑音帯域幅の補正値

ＲＢＷ：分解能帯域幅（MHz）

注７　バースト時間率＝（電波を発射している時間／バースト周期）

七　スプリアス発射又は不要発射の強度（特定周波数帯における不要発射の強度）

１　測定系統図